

## 航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：酒井 雄介 〒144-0041東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163



## 北海道7空港の課題と展望について議論！

## ～交運労協で北海道エアポートを訪問！～

Hokkaido Airports

8月4日(金)、交運労協 航空・観光部会において、北海道エアポート(株)を訪問し、蒲生 猛(がもう たけし)代表取締役社長、加藤 一誠(かとう かずせい)慶應義塾大学教授、内藤航空連合会長(交運労協副議長)の3名によるパネルディスカッションをおこないました。

蒲生社長は、2020年1月の民営化による運営開始の経緯に触れながら「北海道7空港を一括で運営するという初の事例。コロナ禍で厳しい経営状況に陥るなか関係9社の統合という課題に対応している。従業員のみなさんとは『北海道をリードする会社になろう』というビジョンを共有しながら取り組んでいる」と話しました。

加藤教授からは「運営開始直後にコロナ禍に見舞われ、民営化空港のなかでも特に難しい舵取りを迫られている。空港会社と航空会社がいつそう連携し、道内ネットワークを拡充するなど、民営化本来のねらいを達成していく必要がある」とのコメントがありました。



左から) 内藤 航空連合会長、加藤 一誠 慶應義塾大学教授  
蒲生 猛 北海道エアポート(株) 代表取締役社長